

問：**公共施設見直し検討の状況は** 老朽化した公共施設の見直し検討の過程で概算的な数字が出ているようだがどのようなか伺う。

答：〈井沢総務部長〉 今後50年間公共施設を現状の規模や数、概ね287施設、589棟のまま維持してくと仮定した場合、建て替え860億円、改修340億円、合わせて大体1,200億円以上かかるという積算になった。平均すると毎年24億円ほどの事業費がかかる試算になる。過去5年間の一般会計の工事費の平均が約14億円であるので、財政状況を考えると大変悩ましい金額である。



問：**学校でのいじめの状況と対策は** いじめの実態調査を行っているようだが、本市のいじめの現状と対応について伺う。

答：〈廣中教育長〉 4月～7月のいじめの認知件数調査では中学校57件の内、学校の指導により解決したのが37件、指導経過観察中が20件。小学校の33件の内、解決したものが31件、経過観察中が2件あった。指導経過観察中の件や解決した件についても注意深く子どもを見守り、いじめ0をめざして、蒲郡市の全教職員が一丸となって取り組んでいきたい。



問：**うつ対策・自殺予防対策は** 蒲郡市の自殺の現状はどうか。又、新たな対策としてのゲートキーパーの養成やうつスクリーニング導入の考えはどうか。

答：〈鈴木市民福祉部長〉 自殺者の数は、21年度17人、22年度18人、23年度19人である。ゲートキーパーとは、悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげて見守る人のことである。民生委員さんや健康推進員を活用し、今年度3回シリーズで研修を行う。うつスクリーニングは、うつ病の早期の相談や受診につなげるために有効である。検診通知や保健事業など、様々な機会を通じて周知したい。



市民相談・生活相談はお気軽に！

※法律相談・よろず相談・市政に対するご意見等



連絡先：松本まさなり
市役所：0533-66-1169
自宅：0533-57-6999
携帯：090-2921-0998



NEW KOMEITO

公明党